



創立100周年記念事業を振り返る

沖縄ろう学校 歴史の学びから未来へ

11月24日に盛大に行われました創立100周年記念式典・祝賀会。あらためて、その取組を振り返っています。子ども達の感想、そしてこれからへの思いが綴られています。少しだけ、紹介します。



100周年記念式典・祝賀会の感想

高等部3年1組 砂川七海

毎週水曜日の5校時に、中学部と高等部のみんなで、100周年祝賀会でお客様に感動してもらい、分かりやすく伝えるにはどうしたらよいかを話し合いました。

最初は「全体的な舞台にするか」「ドラマ映像にするか」で迷いましたが、意見を出し合い、最終的にドラマ映像と寸劇を組み合わせることに決まりました。ドラマ映像を制作するためには、沖縄ろう学校の歴史や卒業生の活動について知る必要があるので、みんなで協力して学校の歴史を振り返ることから取り組み始めました。

その中で、さまざまな疑問が浮かびました。たとえば「なぜ田代清雄先生は沖縄ろう学校を建てたのか」「創立以前の様子はあったのか」「手話教育はいつから始まったのか」「どんな先生や卒業生がいて、どのような活動をしていたのか」などです。それぞれのテーマごとに担当を分け、調べた内容を発表しました。みんなが一生懸命調べてまとめた発表はとても素晴らしく、私も頑張らなければという気持ちが高まりました。

私は先輩へのインタビューを担当しました。インタビューを通じて分かったのは、先輩方が沖縄ろう学校にとても感謝しているということです。学校では、自信を持って工夫しながら取り組み、手話を通じて情報を得たり学んだりし、多くの経験を積むことができたことに感謝していると伝わってきました。

祝賀会の最後の発表では、舞台上で歌とエイサーをパフォーマンスしました。幼稚部、小学部、中学部、高等部、卒業生、そして平田さん率いるチームが力を合わせて素敵なパフォーマンスを披露することができ、本当に貴重な思い出となりました。この経験を通して、学校の歴史や伝統を学び、みんなで一つのものを作り上げる楽しさと達成感を味わうことができたことを嬉しく思います。

100周年記念祝賀会で大変だったことは、エイサーをすることです。その理由は音楽を聞きながらリズムに合わせておどることが難しかったです。

みんなも、最初はまだまだエイサーの振り付けに慣れてなかったり、音を聞きながら踊ることが難しかったけど、本番に近づくにつれてだんだん上手になり、本番当日はとても上手になってとても驚きもあり、感動もありました。

一生に一度しかない100周年記念式典は、とてもサイコー！！！！でした。

中学部3年1組 有銘寛友

100周年の感想

高等部3年1組 田場 颯留

寸劇は、やはり本番では緊張しすぎて全力を出し切ることができませんでした。でも、幼稚園から高等部全員で全力で頑張ってやり遂げられたことは、本当に良かったです。僕は少し失敗してしまいましたが、最後まで諦めずに頑張りました。

インタビューを受けた時は、少し嫌な気持ちになったんですけど、沖縄ろう学校の歴史について考えたとき、「この歴史を大切にしたい」という思いが湧いてきて、その流れで自然と流暢に説明することができました。話し終わった後は、とてもスッキリした気持ちになりました。

僕が一番印象に残っているのは、戦後に学校が閉校（廃校？）になってしまったことです。しかし、ろう者たちや又吉さんたちが力を合わせて再開してくれたおかげで、今の僕たちがいます。本当に感謝の気持ちでいっぱいなんです。もしろう学校が再開されていなかったら、僕は十分な教育を受けることができず、社会人になってもコミュニケーションで苦労して、自分の人生を幸せにすることができなかったと思います。今こうして幸せに過ごしているのは、本当に多くの人々のおかげだと感謝しています。

100周年の文化祭の向けて、エイサーの練習とか撮影したり、皆が一生懸命、頑張っていて凄く感動しました。撮影はセリフとか覚えるとか演技と顔の表情僕は頑張った事はダイナミック琉球のラップといーやーさーさの所です。最初は大きな声が出なくて、律子先生がアドバイスされて、大声が出すようになって、頑張ったなって気持ちがあります当日はダイナミック琉球とミルクムナリのエイサーはみんながリズムとタイミングがあってすごいなと思いました。受験生だけど最後の最高100周年の文化祭でした!!

中学部3年1組 伊集愛斗

わたしは100しゅうなん
 かりは、いこうで
 ちやん、かーと、さすか
 をかりました。
 みんなど、いっしょにかり
 ました。おとうさん
 とあ、かあさん、かり
 ました。うれしかったです。



中学部3-2 大城 柚奈



中学部3-2 石嶺 琉桜華



北中城村広報誌1月号に 沖縄ろう学校が大特集されます。

今年の当初から本校創立100周年記念に係る取組を北中城村広報の方が取材を続けていただき、来年の1月号に特集されることになりました。

取材の度に本校の子ども達の姿に感銘を受けているという感想も聞きました。とても丁寧で、温かい内容の記事になっています。是非ともご覧いただければと思います。また、北中城村とは、今年、村内統一給食など食育の面でも大変お世話になりました。今後も引き続き新たな取り組みも計画しています。

どうぞ、お楽しみに。



2学期は、創立100周年記念事業という大きな行事を幼児児童生徒、教職員、そして、保護者、関係機関の皆様のご協力で、盛大に実施することができました。子ども達もこれからの未来に向かって、学習面にも意欲が感じられています。あらためまして、ご支援いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。来年も子ども達の更なる成長が見れるよう取り組んでいきます。 良いお年をお迎えください。